



久米島町立大岳小学校

大岳だより

令和3年7月1日 第4号 発行者 新垣 忍

大岳小学校学校目標

- ◎自ら考え、進んで学習にはげむ子
- ◎豊かな心で思いやりのある子
- ◎最後までやりぬく子
- ◎健康で明るい子

学習も運動も！

先月号では、雨の降らない空模様から今年は空梅雨かなと書きましたが、なんとその直後からしっかりと雨は降り今週は記録的な大雨で、あまり記憶のない停電まで起きてしまいました。降り続く雨のため7月を迎えようとしているのにまだ梅雨が明けません。天気さえも例年通りではないのかと思いつつ学校は一学期のまとめの月、7月へと入りました。

授業では、延び延びになっていたプール学習も雲の合間を縫って先週から始まりました。2年ぶりのプールでの学習に戸惑いを見せる子もありますがみんな元気に頑張っています。中旬には全県的なテスト「学びのたしかめ」も行われます。運動も学習もしっかりと行い今年は例年通りの長い夏休みを迎えたいと思います。

コロナに関しては非常事態宣言がまだ継続されますが、引き続き感染対策と子どもたちへの温かい励ましをお願いします。

【校内研究】

どこの学校でもそうですが、毎年 学校独自の研究テーマを掲げ学校教育目標に迫れるよう校内研究を行っています。もちろん子どもの実態や今身につけさせたい力を踏まえた内容になっていて大岳小学校は下記のテーマで今年度は研究を進めていく予定です。少しだけ紹介します。

テーマ	深い学びを目指し、主体的に学習に取り組む児童の育成
サブテーマ	～文学的文章における交流と対話の指導を通して～

ざっくりいうと積極的に人と話し合うことで、自分の考えを更に深めることのできる子どもを育てようということです。

第1回研究授業 6年国語

担任 比嘉 悠里奈先生

「せんねんまんねん 作：まど・みちお」の詩を取り上げました



左) ペアで考えの交流をして
右) 自分の考えが変わったことを発表しています。正解を導くのが目的ではなく考えが深まることを大切にしています。

第2回研究授業 5年国語

担任 野村 伸先生

「からたちの花 作：北原白秋」の詩を取り上げました



上2枚) 考えを全体に発表しています。右) 授業研究会の様子です。先生の発問(発言)等について子どもの思考を深めるために効果的だったのか検証しています。



ちなみに

自分の考えを発表するためには理由や根拠を持たなければなりません。先生方はよくこんな問いかけをします。

「どうしてそう思ったの？」 「なぜそう考えたの？」

ご家庭でも子どもたちが意見を言ったとき問いかけてみてはどうでしょうか？ きっと物事を深く考える子どもに育つに違いありません。(ただ言い過ぎると「うっせえ」なんて言われるかもしれませんが……(^_^))

PTA 作業 6月2日(水) 感謝！

緊急事態宣言中ではありますが感染防止対策をとりながら第1回目のPTA作業を実施しました。多くの保護者の皆様のご協力をいただき校内が見違えるようにきれいになりました。ありがとうございました。